

せいぶ館通信

第16号(通算第20号)/2003年(平成15年)5月/発行:(財)合気会神戸支部せいぶ館 編集・文責:和田正志

支部長:中尾眞吾 道場長:濱崎正司/〒650-0011 神戸市中央区下山手通8-20-17 えぬビル3F 白蘆林内 ☎078)382-1659

(財)合気会神戸支部・開設45周年

記念行事のお知らせ

— 多くの方のご参集をお待ちしています —

7/12(土) 17:30~19:30 せいぶ館 (せいぶ館会員対象)

講習会 米持英夫先生/合気会常務理事・八段/神戸支部創設者

講習会 遠藤征四郎先生/合気会本部道場指導部師範・八段

・講習会の後、灘屋で食事会

7/13(日) 9:00~12:00 王子スポーツセンター・柔道場 (灘区、王子動物園の北西)

講習会 遠藤征四郎先生/合気会本部道場指導部師範・八段

演武会 遠藤征四郎先生、他道場の方々、神戸支部長、せいぶ館道場長など

7/13(日) 13:00~15:00 ホテル・ペアーレ神戸 (中央区・せいぶ館北側、下図参照)

パーティー

・会費 2000 円

・会員は全員参加(少年部無料)とし、事前に申し込んでください

・祝儀等は辞退しますので、あらかじめご承知おきください

【石井町・旧精武館道場内部…覚えていませんか?】



24年ぶり！？ 尾崎さん、現れる

中尾眞吾／支部長／六段

道場に問い合わせの電話があったー「新しい道場は何処にあるの？」

子連れの人が店に現れた。(電話の人かな？)「外に出られるか？」(誰やろか？)「立派な道場やな。精武館の火を消さんと続けていてくれたんやなあ。ありがとう」(前に精武館で稽古をしとった人やろか？)その人の顔には全く覚えがないし、名前も名乗ってくれへんし、それに昇段試験のやり方を熱心に聞いてくるし……。 (誰やろか？) (何で昇段試験？)「お名前は？」と聞くと、「弟弟子になんて名を名乗らなあかんねん！！」。そこでちょっと、ひと悶着。「尾崎や！」「エッ！ 尾崎さん！！ スイマセン！！！」“先生”の顔を完全に忘れていたとは、ヒドスギル。

その頃、尾崎さんは30半ば。打越さんも和田君も佐治君も佐々木君も……皆な20代。み～んな元気な頃。バンバンどんどん。武闘派合気道！ かな？ 稽古のあとは筋肉トレーニング。腕立て伏せをし、四股をふみ、腹筋をし、背筋を鍛え、スクワットも。筋肉増強こそが合気道が強くなる「最短」の道、と信じていた時代。

尾崎さんが道場を覗いた時、松平君もその人が誰か分からなかったみたい。山崎君も「へえー、あの、人、尾崎さん？ フウ～～ん！」。「俺やったら分ったやろな」と打越さん。佐治君も和田君も「へえ～～～～、尾崎さんが？」。

今年で、45周年を迎えるせいぶ館。長い歴史のある道場で、同じ事をし続けていると、いろんな事に出会える。人と出会い、人と別れ、会いたかった「幻の人」にも又会える。ええなあ、合気道。

[昇級・昇段試験を振り返って]

構えについて

濱崎正司／道場長／七段

年に2回の長くて厳しい1日の、第1回目が無事終了しました。昇級、昇段試験の日はまた、会員の皆様にとって待ちに待った緊張の日であろうと思います。この日は半年間の指導の結果が出るときであり、注意しながら見せていただいております。今回は「構え」について気付いたことを述べてみますので、参考にしてください。

合気道では、「気の構え」、「心の構え」、「体の構え」がひとつになったものを「構え」と言う。相手に対しては必ず半身に構える。左足を半歩前に踏み出せば「左半身」、右足を出せば「右半身」という。取りが右半身、受けが左半身のとき、これを「右逆半身」といい、左右逆になると「左逆半身」と言う。取りが左半身、受けが左半身のとき、これを「左相半身」と言い、左右逆のとき「右相半身」と言う。これが基本的な構えであり、半身に構えるときに注意することは、自然に立つことであり、力を入れて構えてはならない。

相手との関係においては、相手の動きに応じて、姿勢を保ちながら自然に対応することが大切である。右足を動かせば、次は左足を動かすのが自然である。

構えと運足の次に「間合い」を考えてみる。簡単に言えば、自分と相手との距離、位置、そして方向の関係である。この他に、稽古中の両者の意思と心理的なものも把握し、対応することが求められる。技に入る前だけでなく、技の中でも両者の関係に注意すること。「目付け」については、視線を一点にとどめることなく、相手の全体を見ることが大切である。

構え、間合、目付けと一般的な表現で書きましたが、今回の試験でその級の技が十分にできなかった方は、次の級に向けて日々の稽古(修業)を怠らず、相手との出会いの楽しさを求めて精進ください。

❀ 平成15年3月度 昇段・昇級者 おめでとろどぞいます ❀

二段: 玉置恵啓

初段: 平尾重雄 寺見正志 西澤莊平 香山和室

1級: 長谷川秋子 鳴嶋保雄

2級: 五十嵐康人 エステラ・ディーン 三吉まゆみ 香崎広宙 神谷貴志

3級: 柏木健志 杉村廣美 荻野賢志郎 山崎高司 坂田真理

4級: 松田 毅 アレックス・ギルモア 玉村淳子 園田将人

5級: 佐々木国雄 角田リサ 下西由紀代 山本梅子 井上圭子 土屋日鶴

6級: 佐伯貴生 横本大輝

7級: 木村太郎 一二三麗子

9級: 田中亮多 鷗木義晶 増田瑠偉 中野貴統 青山裕輝 春名晃宗 和田悠樹
高木惇平

10級: 中谷政人 辻良太 渡辺育未 太田百合香 渡邊安由美 常峰瑛宏 ルナ一樹
一宮大起 大橋英一郎 北川宗樹 大橋恵子 春名優里 道家菜美子 池田貴史
一二三琢磨 遠藤文美 河内元 佐藤洸亮



せいぶ館の絵師・紙谷さんが描いてくれました。さてこの3人は誰でしょう?

見事正解の方には、せいぶ館より豪華な賞品……はデマセン。(ヒント:初段おめでとろ)

2002年 稽古回数ベスト10

①玉置429 ②中尾302 ③明子236 ④鳴嶋228 ⑤有本210 ⑥香山187
⑦山口186 ⑧新阜182 ⑨坂田175 ⑩西澤169 <◎マークの方に福袋進呈>

第2回事稽古完進者

鳴嶋 杉村 エステラ ラッセル 有本 香崎 山崎高 角田 <以上の方に道着進呈> 中尾



天下一武道大会レポート

佐藤彰雄／初段

「兵庫県立武道館開館記念天下一武道（合気道）教室兼合気道兵庫県連盟発足記念講習会」……長い。この長い名前の講習会が去る2月11日に行われました。場所はもちろん兵庫県立武道館。設立からせいぶ館が関係して来た立派な武道館で、大人子供あわせて約700人もの大人数が集まり、稽古を行いました。

当日は朝8時半に集合し、武道館に畳を敷くところから始めました。敷く畳の量、なんと800畳以上。敷き終わると1200畳以上。広い！ 10時の開会までに敷き終わるかが当日一番の心配事でしたが、様々な道場の方に手伝って頂き無事間に合うことが出来ました。感謝感謝。

当日は(財)合気会から植芝守央道主および入江指導員、佐々木指導員に指導して戴きました。開会式の後、道主の講演会、その後の子供の部の講習会と続きました。大人もいっしょに稽古をしましたが、その準備運動で大人はヘトヘトになることになるのです。

なぜなら。1200畳以上の広大な道場の端から逆の端に向かって前回り受け身、後ろ回り受け身、道場の中央部まで膝行。広い畳で子供はおおはしゃぎ、大人はぐったり。子供はやはり元気です。せいぶ館から参加した子供クラスのみならず、戸惑ったところはあったみたいですが、他の道場の子供と真剣な表情で楽しく稽古が出来ました。稽古の後は記念撮影。パチリ。

午後は一般部の稽古。道主の技を熱心に見入り、広い道場を一杯に使って普段稽古をしたことのない方との新鮮な出会いと稽古を楽しみました。稽古の後はやはり記念撮影。パチリ。

稽古の後は掃除・畳の片づけ。なんでも武道館が出来てすべての畳を敷いたのは今回が初めてだったらしく、武道館の方から「合気道が道場を使うと道場がキレイになる」との御誉めの言葉を戴いたとか(!?)。立派な道場で楽しく稽古が出来てしかも感謝してもらえる、なんか得した気分ですね。

< 一般クラス・昇段昇級感想文 >

華麗なる舞のよさを技

玉置恵啓／二段

みなさん、ありがとうございます。二段に昇段させていただきました。

一部良い評価も得たのですが、後でビデオを見て愕然としました。華麗なる舞のような技、だったつもりが、加齢なる鈍重な技、であることを思い知らされました。これからは、審査等では、若い人の受けは取らないようにします。相手の方に気の毒です。三吉さん、すみませんでした。

私は建築の設計を生業としていますが、時代が移り、建築業の繁栄は過去のものとなり、本業では食っていけず、副業を持たざるを得なくなりました。そんな仕事の中で、若くて美しく優しさにあふれた、宮本さんという女性と仕事をする機会がありました。ある集金業務に始めて立会った時のことです。

誰と、どのように行うかも判らないままボーッ

と彼女の仕事を眺めていました。フト我に帰り、その仕事を手伝わなければならないことに気がつき、忘れていたことを詫言ると、非難をされると思いきや、優しさで包み込むように対応してくれました。ホッとすると共に、とても温かいものを感じました。

これからは、年齢的に、武闘派の合気道は私には無理ですので、宮本さんのように、相手を優しく包み込むような、癒しを、合気道に求めています。さらに、後重心に気をつけていきたいと思っています。

60%。65%。130%

平尾重雄／初段

今回初段に昇格させて戴き有難うございました。思えば五十歳台後半せいぶ館に入門し、5級、4級の頃は、歳も歳なので黒帯は夢のまた夢、黒帯が締められるとは思ってもおりませんでした。

毎回練習の前は、ああやれぱうまくいくはずだと考えても、実際に練習に入るとさっぱりダメ。練習が終わって帰り道、自分は1歩でも、いや足の指1本でも前進しているのだろうか、と自問の繰返しでした。

試験や審査の日は、少々年輪を重ねても何回場数を踏んでも、何とも云い難い緊張感におそわれます。あせり、やることはやったかなと今さら考えても仕方のない事を考えたりします。

入学試験は100%自分の力を出し切ること。学生生活は大いに遊び、また遊び、及第点の60点目標。社会に出ると人生65点、努力も65%で充分。諸処の筆記、口述試験を合せると20回以上になりますが、80点、90点はあっちに置いて65点目標。ズリ落ちたら、これは自分に向いていないと再挑戦しません。

去年は、消防関係2つと厚生労働省関係1つ受験しました。今年最初の試験は“合気道初段”。これは今までのように過去問の本を1、2冊という訳にはいきません。自分の能力の130%、いやそれ以上頑張りました。試験の2週間前頃から、寝ても醒めても一教、二教……。通勤電車に乗れば、前の人をイメージで入身投げ、四方投げ……。

試験当日は落着け、落着け、と自分に言い聞かせて、途中半ばで“逆けさ切り”と言われて、エーこれは何一い、と飛んでしまいました。後は皆様見ての通りでした。人生で一番苦難な試験でしたが、幸いにも初段を戴き本当にうれしく幸福感に浸っております。娘の結婚にも間に合い、グッドタイミングでした。

これからは、楽しく練習に励み、1日少しでも前進していきたいと考えております。皆様これからもよろしくご指導のほどお願いいたします。

念願の黒帯

寺見正志／初段

この度は初段を頂き有難うございます。

私は平成11年10月、当時中学校3年生の長女に合気道を習わせるつもりで一緒に入会したのですが、いつのまにか私の方が稽古によく通うようになり、やっと念願の黒帯になれました。ここまでこれたのも先生方とせいぶ館のいつの曜日も稽古ができるという恵まれた環境のおかげだと思います。私は今まで、どちらかというと、ただがむしゃらに稽古をしてきたと思うので、これからは少し考えながら、めりはりのある稽古をしていきたいと思っています。

憧れの稽姿

西澤莊平／初段

小学生のときに合気道をはじめた僕にとって、稽姿の人たちは別世界の手の届かない存在でした。なぜあんな風に舞うがごとく相手を倒せるのか、いつも不思議な感じがしてなりませんでした。

今回の昇段審査で初段にさせて頂き、夢のように信じられない気持ちです。運動神経の鈍い僕に懇切丁寧に教えてくださった先生方や、まわりの皆さんに本当に御礼を言いたいです。

これからも稽古に励んで、しなやかでキレのいい動きができるように頑張っていこうと思っています。これからもよろしくお願いします。

縁

香山和宏／初段

この度は初段を頂きありがとうございました。この初段は自分で取った初段というよりも、無級の時から一緒に稽古して頂いた方々に頂戴した初段だと思っています。

人が一生の内に会える人の数は、同じ国の中でも全人口からするとほんの一部に過ぎません。そのほんの一部の人の中でも、せいぶ館と縁のある方々と出会って一緒に楽しく稽古出来るということは、奇跡に等しい偶然だと思います。これからもこの偶然を大切にしていきたいと思っています。

合気道会話編

鳴嶋保雄／1級

審査が終わり、1級を頂きました。有り難うございました。今ゆっくりと振り返っています。自分では、今までの審査の中で一番納得できたものと思っていました。しかし、評価は正反対で、何人かの心優しい人たちに慰めても頂きました。大きな疑問符が残りました。

これでは反省すらできないと思い、翌日の稽古に行きました。普段は稽古をしない有段者の人達と稽古をしました。丁寧なアドバイスも頂きました。有り難うございました。次の日はいつもの朝稽古でした。N先生も「なんでだろ～、なんでだろ～」でついに解らずじまいで、その翌日からは仕事と帰省で神戸を離れました。しかし、悩める中年親父の疑問符と異郷の冷え冷えとした風景は、返って私の風邪をこじらせてしまいました。

ついに私は寝込んでしまったのです。

寝込んだといっても、することのない夕刻は、知り合いを誘って「薬」を飲みススキノに通ってました。体調が悪いせいか、外気が低いせいか「薬」は効きません。どんどん飲むと翌日スッキリ。百薬の長は素晴らしい。

寝ていて考えました。私たちは普段、道場で稽古をしています。では道場以外で応用はできないものだろうか。そしたら、言葉の行き違いや何かで、人と口論になって困った経験が思い浮かびました。そうした時、「合気道会話編投げ固め技」なんてのをやってみたらどうでしょう。やはり基本は入身と転換で、優しくてぶつからないのがいい。例えば、「ボケ突っ込み一教」とか、「揚げ足取りオウム返し」とか、技の種類を考えているだけで楽しくなりました。

合気道も、「合気道会話編」もともに相手あつての技でした。そこを忘れては「一人合点」なものになってしまいます。少しでも悩みが解けた気がしました。どちらも有段者になるには時間がかります。もっと稽古しようっと。

それにしても、私のまわりには「合気道会話編」の昇級審査をうけてほしい人が何人かいるのです。こちらの審査は難屋で「薬」を飲みながらしようっと。

秋子の日記

長谷川秋子／1級

3/10(月) 昨日の審査ですっかり風邪をひいてしまった。課題もたくさん残った。身も心も疲れ果てた。希望の光はあるのだろうか？

3/11(火) 今朝は合気道の事で、目が覚めた。侵されている。昨日からの風邪で味覚もおかしい。ヨーグルトがまずい！ 今日は何も考えずにいよう。

3/12(水) 昨日は水曜だとずっと思い込んでいた。審査から丸2日しか経っていないとは……もう随分時が過ぎたように思える。

3/13(木) 身も心も少し軽くなったようだ。今朝は、春の陽射しを楽しみながら会社に通りに着く。こんな日があるから、どんなに辛く悲しく、落ち込んでいても明るくなれる。そう思うのは私だけ？

3/14(金) いい子ぶる、いい人ぶるのはやめよう。気持ちのまま、心のまま、自然にまかせたい。稽古に行くのも、もう少し休んでから。

3/15(土) ……。

3/16(日) 今日も雨で寒い。ハンズで買ったそば粉で初めてのそば打ちに挑戦するが、とてもそばとは言えないものになった。いつか、そばを石臼で挽いてそばを打つ。老後の楽しみにしよう。

3/17(月) 久々に生活のリズムを普段にもどそう。正統派S氏の稽古です。

3/18(火) 心身ともに軽くなった。希望の光は、自分の心の中にあつた。地道にやろう、そう、地道に地道に、いつも通りに……。次回の審査は、自信を持てるようにしよう、余裕を持って楽しめるようにしよう。打越先生に“審査の受けを取ろうか”と言っていたが、冗談でも嬉しかったです。でも自信をもって自分からお願いできる日は、来るとは思えませんが、少しでもそんな事を思いながら、地道に、地道に、地道に……。

とねからね

五十嵐康人／2級

道場に来させていただいて、2年半が経つ。よく、長かったとか短かったと表現されるが、最初の2年は長かった気がする。いつ、すーっと入っていけるか、と思っているが、他の方々の審査の様子を拝見していて、日頃の練習以外にその入り口はないように思う。

いつも、審査の直前にリキを込めて教わる、という劣等生のやり方を改めなくてはならないと思うし、それを補うために何冊かの合気道の本を買ってみたものの、復習にはなるが応用問題の解決にはならない。出来るだけ時間の段取りをしながら、回数を増やすことを考えている。今、そう考えている。

とーってもうれしい♪

三吉まゆみ／2級

せいぶ館に入門して3年、2級をいただきましてとーっても嬉しいです！！ 今後も、相手の力・氣との繋がりを大切に、楽しく稽古します。

今回、審査の前に特訓とアドバイスしてくれた玉置さん、有難うございました。皆様に感謝します♪

『カミタニ』です！

神谷貴志／2級

楽しかった！ 今回はそんな昇級審査でした。

今まではうまく見せようと力以上のことを考

えすぎてしまい「やっと終わった」という安堵感しかなかったのですが、今回は自分のやってきたことを精一杯やろうと頭を真っ白にして審査を受けました。審査が終わったときはすごい満足感があり自然と笑顔になっていました。自己満足の世界ですが自分の力を100%出せたことがこんなに楽しく気持ちのいいものとは初めて知りました。

私は試験、審査、試合という類のものは今まで緊張ばかりするので好きなほうではなく、進んでするものではありませんでした。しかし、今回のことでその考え方が変わりつつあります。次の審査のときもこんな気分がまた味わいたいので、それまで稽古に励んでいきたいと思います。

話は変わりますが私は名前をよく間違われます。よく「かみや」と呼ばれますが、正しくは「神谷」と書いて「かみたに」です。最初は時間が経てば覚えてくれると思っていたのですが未だに間違える人がいるのでせいぶ館通信に書く事にしました。どうか今後は間違えないで下さい。影が薄いのかな……。

気づいたこと

香崎広由／2級

「帰ってきた新人」として稽古を初めましたが、このたび2級をいただき、ありがとうございます。これも諸先生や皆さんのおかげだと感謝の気持ちでいっぱいです。これからも頑張りたいと思いますので、よろしくお願いします。

先日のことですが、稽古をしているときに先生が手本をしめされた際、初心者の人が、「この技は知っている」と一言つぶやいているのを聞きました。その人は、毎回新しい技が次から次に出てくるものだと予想していたようで、同じような技を繰り返し稽古するとは思っていなかったようです。

ふと、せいぶ館ホームページにある植芝盛平翁語録の中の、「君は何を言っているのか。日々極意の技をやっているではないか。今日教えた入身の投げ技などは、極意中の極意だ。奇想天外な極意などというものは、武道においてはあり得ないよ」という言葉を思い出しました。次元は違いますが、この言葉となにか関連性があるような気がしました。

確かに、稽古では毎回同じ技を、先生の手本で何十回、何百回と目にしているはずですが、でも実際やってみたら出来ない。出来たと思ったら、次

の日には出来なくなり、わかったと思ったら、さらにわからないことがたくさん出てくる。稽古をしていて何がわかるようになったかと聞かれれば、わかってないということがわかった、と言うしかありません。道はますます険しく、山はさらに高くなっていく気がします。

でもこんなことを感じるようになるとは、最初の頃は気づきもしませんでした。級があがれば、道は平坦になり山は低くなっていくものだと思っていました。

このようなことを気づくこと自体に、稽古をしている意味があるかもしれないのですが…。上段者、上級者の方々は、もっと険しい道を進み、もっと高い山を登り、もっと多くのことを気づいているのだろう、と考えると気が遠くなります。

でも先は遠く、奥が深いからこそ、長い年月をかけて稽古する甲斐があるという見方もできるのだと思うようにしています。これから稽古を続けていけば気づくことができるかもしれない「なにか」を楽しみにして、稽古に励みたいと思っています。

知れば知るほど…

エステラ・ディーン／2級

英語にこんな表現がありますー「知れば知るほど、ますます自分が何も知らないことを知る」。最近になって、今まで習ってきたものの中で、合気道はまさにそのとおりだということがわかってきました。

2年半せいぶ館で稽古してきましたが、まだまだ習うことが山のようにあることが、やっとわかってきたのです!! 2級の試験のための練習をしていて、いくつかの間違いにやっと気付きました。それまで三教を間違えて稽古していたこともわかっていなかったのです! こんな状態にもかかわらず、2級の試験に合格することができてとても幸せです。

スローペースであっても前に進んでいけるように後押ししていただいた、せいぶ館の多くの方々のご協力に心よりお礼申しあげます。これからもみなさんに辛抱強く教え続けていただくことを願っています。そうすれば、他の間違いもすべて直していくことができるでしょう。皆さん、どうもありがとう!

THE MORE YOU KNOW

In English we have an expression, "the more you know, the more you realise you don't know."

Recently I have come to realise that this is as true for aikido as for everything else that I have tried to learn. After two and a half years practising at Seibukan, I am at last beginning to understand just how much more there is to learn!!

Practising for the 2 kyu test helped me to see just a few of my mistakes, although I still hadn't realised that I had been practising 3 kyo incorrectly! Despite that, however, I was able to pass the 2 kyu level, so am very happy about that!

I truly appreciate all the help that so many of you have given me, in order for me to be able to make some slow progress.

I hope that you will all continue to teach me patiently, so that I can begin to correct all my other mistakes! Thank you! (Estella)

色々反省...

坂田真理／3級

合気道を始めて、やっと1年経った矢先に怪我をしてしまいました。ほんの一瞬、気が逸れたというか、判断を間違えたというか…。

それから2ヶ月以上、稽古をお休みするハメになってしまいました。今更なのですが、ちょっとしたことで簡単に怪我をし、または、させてしまう合気道ってやっぱり怖いんだわ、と思いました。武道なのだから、当然のことなのですが…。

稽古時間中は勿論、時間後でも、稽古するならば常に緊張の糸を途切れさせないように。真摯な姿勢で。かと言ってガチガチになってしまわないように。それに気を付けて、怪我のない楽しい稽古を続けていきたいと思います。

余談ですが、審査後に2階で見たビデオに、醜態を晒している様子がしっかりと映っているのを知った時は、止めを刺された気がしました。文明の利器なんて大嫌いだー！！（…なんて言いつつ、この文をパソコン使って書いているあたり、ダメ過ぎ）

いくら稽古日数が規定に達していようと、審査前にほとんど稽古しないまま、審査を受けてはいけないとも感じました。

最後になりましたが、論子さん、本当にどうも有難うございました。

やっぱ笑いがむくっちゃね♡

杉村廣美／3級

知らんうちに腹式呼吸が出来るもの。それは、あくびと笑いである。意識せずに呼吸はしているものの、正しい呼吸はなかなか難しい。酸素を吸って二酸化炭素を吐き出す行為のやり方で、気分まで変わることもある。生きる為には息をしないといけませんが、体はもちろんのこと、精神面までにまで影響するそれは、とても大切なことだと思う。そんな、笑いのあるせいぶ館の稽古が、私は大好きです。

昇段、昇級された皆様、本当におめでとうございます。私は3級を頂きました。ということで、皆さん、サンキュー(by 有本さん)。最後に、かあちゃん、ありがとー。

ノシノイクション『一期一会』

柏木健志／3級

今年の1月6日。三ノ宮駅を歩いていると、出入口付近にいた女性が突然倒れてきました。「危ない！」と思い、気がついたら体が動いていて、床に落ちる前に頭をキャッチすることができました。

「大丈夫ですか？ 持病でもあるのですか？」と尋ねましたが、彼女は気を失っている状態でした。顔色は悪くなかったので、脈拍をみようとして手に触れると異様に冷たかったので、着ていた皮のコートを彼女の身体にかけてあげました。

そうこうしている内に、近くにいた若い男性が救急病院に連絡してくれて、救急車の到着を待つことになりました。近くにいたピラ配りの女性の話を要約すると、「女性は今日、広島から神戸にやってきた」、「親戚が神戸に住んでいるのだが、なぜか連絡が取れない」「今日泊まる所がないので、住み込みの仕事を探している」、「ピラ配りの仕事を手伝って少額の金額を受け取った」など。僕は驚きを隠すことができませんでした。「一見したところ、どこかの良家のお嬢さん、と言っても不思議でないのに、人それぞれに背負い込んでいるものがあるんだな」と思いました。

救急車で彼女が運ばれて行く時、駅員に連絡先を聞かれたので教えて、彼女からの連絡を待っていました。連絡がないので、気になって三ノ宮駅に問い合わせたら、なんと彼女は入院を拒否して、警察署で保護されているそうなのです。再度問い合わせたところ、「彼女はある施設で保護されて

いるが、他人の貴方には教えられません。でも責任をもって保護します」という回答をいただいたので安心しました。

「どうやら僕は彼女の人生の登場人物ではないらしい。いつまでもお元気で、そして幸多からんことを」と思いました。

体力不足?

荻野賢志郎／3級

昇級させていただき、ありがとうございました。

練習後半になるとよく足がつります。ときどき、練習を中断しています。こんな私に嫌がりもせず、根気よくご指導いただいた、先生方、諸兄にこの場を借りて、お礼申し上げます。おそらく体力不足、スタミナ不足だと思いますので、今後克服しようと誓っております。今後ともよろしくお願いします。

体を動かす気力

山崎高司／3級

日々御指導して下さる先生方、皆様方のおかげでこのたび3級を頂くことができました。ありがとうございます。これからもよろしくお願い致します。

昔から目覚めが悪く、朝起きることが苦手です。目が覚めても体が動かず、なかなか起き上がることができません。布団が恋しく“5分位いいやろう”と二度寝が多いです。しかしながら、朝稽古に行く日にはぱっと目が覚めて、さっと起き上がることができます。子供の頃、修学旅行など楽しいことがある日、朝ひとりでに体が動くのと同様に合気道をするのが好きで楽しいからだと思います。

話は変わりますが、朝稽古のとき7時45分から前受身の稽古が始まります。そのときには、私は仕事のため帰ります。“全然前受身の稽古してないなあ、大丈夫かいな”と心配していましたが、案の定前受身が下手です。私のあまりにも下手な前受身を見るに見かねた中尾先生に私が帰る前投げていただいています。ありがとうございます。これからもよろしくお願い致します。

俳句と川柳を各1題

松田 毅／4級

○春寒の山の端に咲くすみれ草

入門した時から（今もですけど）ずっと長く続けられたらいいな、と思っています。今後ともよろしくお願いします。

○「手の内」と言われてみても手の外に

ある先輩から「合気道は手の内だ」と言われたことがあります。しかしまだ理解も不十分のうえ、何もできていない自分を自覚して情けない思いになります。精進するしかないですね。

私と合気道

アレックス・ギルモア／4級

1990年半ばの約3年間、東京でしかも本部道場のすぐ近くに住んでいたにもかかわらず、私が合気道を始めたのは、その後仕事でサウジアラビアに行ってからでした。

「なんでそんなところで合気道を？」と思う人もいるかもしれませんが、実際のところ私はこの合気道によって、住みにくいサウジアラビアでの大変な日々から救われたのです。私の通っていた道場のレベルはそんなに高くはなかったけれど、みんなとても熱心で、週末も朝7時に起き正座で30分足の感覚がなくなるまで詠唱し続ける禊に喜んで参加していました。

私が日本に戻ってきた理由の一つは、合気道を時間の許す限りたくさんやる為でした。引っ越してすぐにせいぶ館に出会うことができ、私は本当にラッキーでした。せいぶ館は私にとってとても特別なところでした。初めて道場を見学した時、ここで合気道を習っている人達は一つの大きな家族のようだと感じました。また日本の道場はイギリスの道場より Macho ではないとも感じました。

この度、ついに念願の試験を受けることができ、とてもうれしかったです。できるだけ長くここにいて、初段までとりたいと思っています。日本語が上手でない為、みなさんとうまく話ができなかったり、もし迷惑をかけていたりしたらすみません。道場ではもっといろいろ話をしたくても日本語は難しいので、自分の言いたい事を上手く表現できず、自分が6才の子供に戻ってしまったように感じます。

最後に、私が以前習っていた合気道のスタイルが少々乱暴だった為、今もまだその癖が抜けず、痛い思いをさせてしまっていたらすみません。もっと滑らかにできるように努力します。これからもどうぞよろしくお願いします。

Although I lived in Tokyo for three and a half years in the mid-nineties and was so close to the

Hombu Dojo, I didn't start doing Aikido until I went to work in Saudi Arabia. A strange place to do Aikido you might think but actually it helped me get through a very difficult few years there. The level in our dojo was quite low, but we were all very enthusiastic; enough to get up at 7 am at the week-end to do 'misogi', sitting in seiza for thirty minutes chanting until our legs went numb.

One of the main reasons I wanted to return to Japan again was to be able to do Aikido regularly and I feel very fortunate to have found Seibukan Dojo. The atmosphere here is quite special I think and I was struck by the 'family feel' that it has on my very first visit. Dojos in Japan seem to be much less macho than English ones.

I'm glad I've finally been able to do a grading at Seibukan and hope I can stay long enough to reach shodan level! Sorry my Japanese isn't good enough to be able to talk to you all properly ~ I can never say everything I want to and feel like I'm a six year old again when I try to communicate at the dojo. I also want to apologise for the fact that my Aikido is still too hard; I'll try to make it softer in the future! (Alex Gilmore)

ハマってきす

玉村淳子／4級

この度は4級をいただきありがとうございます。せいぶ館に入会して1年と2ヶ月がたちました。当初は自分がこれほど合気道にハマるとは考えておらず、単なる気分転換で始めただけでしたが、今ではせいぶ館に来ることが生活の一部になっています。長く続けていきたいと思っています。

人間らしさ

園田将人／4級

この度は4級に昇級させて頂きありがとうございます。中尾先生をはじめ、朝クラスの皆さん、いつも、ご指導頂きありがとうございます。朝クラスは、上段者の方が多く、私はダントツで最下位を走っておりますが、皆さんには、いつも快く、稽古相手を引き受けていただき、とても感謝しております。

試験中は、濱崎先生のコメントのとおり、上半

身に力が入ってガチガチになっているのに自分でも気が付きました。頭で想像したイメージどおりには、なかなか体は動いてくれないのだと実感しました。

私は、あるメーカーで造船関係の事務の仕事をしています。会社では毎日、機械や技術に囲まれて仕事をしています。その為なのか、最近、合気道の稽古をしていると「人間らしさ」を感じ、とてもホッとすることがあります。近頃はパソコンに代表されるOA機器に頼りがちな生活をしておりますが、合気道のように、自ら考え、自らの身体を動かす事は、人間行動の原点であるのではないかと考えます。

これからも、仕事・家庭・自分の時間と上手にバランスを取りながら、マイペースで合気道を楽しんでいきたいと考えております。目標は？今年から長男が小学校に入学します。中学校に入学する春には、黒帯を締めていたいと思います。

流れのある合気道

井上圭子／5級

この度は5級をいただきありがとうございます。

合気道を始めてから4ヵ月。稽古日数もぎりぎり審査を受けるか迷いましたが、ダメもとで受けてみました。審査は今思えば、自分でも笑ってしまうくらいガチガチに緊張していました。一人、人前で何かをするのは多分12歳のピアノの発表会以来と思います。一教の時は両足が震えるし、途中で相半身と逆半身を間違えてからは、頭が真っ白で何をしたかも覚えていません。ただひたすら受けをしていただいた玉村さんに言われるままに技をしていました。無事最後までできたのは玉村さんのおかげです。ありがとうございます。5級になれてとてもうれしいです。(^)v

審査を受けると決めてからはそれまでは言われるままに動いていたのが、自分なりに技の動きを考えながらするようになってよかったと思う反面、動きに流れがなくぎくしゃくしてしまいます。このことは審査のときにも濱崎先生にいわれました。これからは流れのある合気道を目指し稽古に励みたいと思います。これからもよろしくおねがいします。

通致 木刀ふるひ 前にあるかと 襲ひ来る
敵の顔に 吾は主ちけり

引き続きして

山本梅子／5級

この年齢で今から合気道を始めても、どれほどのものでもなし、目立たず機嫌よく通わせていただだけで、と思っていたのですが。ふと出席簿を見て思いがけず無級の最上部あたりで目立っている自分の名前に驚き試験を受けさせていただきました。

5級を戴いてみれば、今まで合気道の門前を右往左往していたのが、一步門内に足を踏み入れたような改まった気持ちになるのは不思議です。でも、門内に立ち入っても悪戦苦闘、右往左往するのは変わりなく、引き続き皆様にご迷惑をおかけするとは思いますが、今後ともよろしくお願い致します。と同時に、今まで相手をし、教えてくださった皆様、本当にありがとうございました。

進め!

角田リサ／5級

学生時代からなんとなく武道に興味はあったのですが、体育会系のクラブ独特な雰囲気が苦手です。スポーツは、この年になるまでやったことはありませんでした。色々な理由から合気道を始めようとせいぶ館に通い出したのが、去年11月でした。

12月→やり出してからは稽古が楽しく、時間があれば道場に来たいと思うまでになりました。

1月→寒稽古に挑戦、稽古着がタダでもらえるならとセコイ考えでやり始めましたが、完遂した後では、それ以上のものが頂けたと思いました。

2月→昇級審査が話題になりはじめ、最初受けるかどうか迷っていましたが、ある方のひとことで受けようと考えが変わりました。

3月→皆様のおかげで5級をいただきました。ありがとうございました。これからももっと稽古に励んでいきたいです。

とこの半年

佐々木国雄／5級

このたびは5級をいただきありがとうございました。

東京から神戸へ生活の場が変わり早半年。生活が一新する中、これだけは今までどおり続けたいと考えていたのが合気道で、せいぶ館に入門したきっかけでした。そして、それが大きな勘違

いでした。

最初の練習に参加し、皆さんがきれいに技を決めている中、私だけ「あら? なんか変やな」。

1月ほどブランクがあったから感覚がつかめなかったのかな、と出かけていった2回目の練習で「あれ、なんやこれは?」3回目の練習で気付きました。「ここでやっている合気道は、俺の知っている合気道と違うぞ」今まで積み重ねてきた合気道に対するの考え方はがたがたと崩れ、軽く体を動かすために始めたせいぶ館での稽古が私の中で一番手ごわいものになっていきました。

そして、半年。仕事も慣れてきてだいぶ生活も落ち着いてきた中、合気道の稽古は毎回新しい発見があります。いつになったら自分の合気道に自信が持てるのか、まだまだ先は見えてきませんが体を壊さん程度にこれからは、手ごわい合気道を楽しんでいきますので、皆様これからもよろしくお願い致します。

初めの第一歩

下西由紀代／5級

教えて下さり、お相手して下さいの皆様ありがとうございました。5級をいただきました。

去年の夏は暑くて、道着を運ぶ体力もなく何回か休んでしまいました。仕方なく近くのジムで走ることにしました。今年になりようやく2キロ走るのに15分かからなくなり、稽古も休まなくなりました。

本当はジムの水泳からシフトするつもりで始めた合気道だったのに、合気道のためにジムに通うなんて、一体私はどうなってるのかしら?

< 子供クラス・昇級感想文 >

佐伯貴生／6級

ぼくは、合気道のしけんを受けようと思っていたのですが、練習回数がたりず、水曜日大人クラスのけいこに行くことにしました。

そして水曜日、ぼくはちょっとだけ、けいこに行くのがいやでした。練習では子どもクラスのこの先生に教えてもらいました。ちょっとむずかしかったけれど、だんだん慣れてきて、楽しくて、あっという間にけいこの時間が過ぎてしまいました。

そしてしけん当日、あっという間にぼくの番がきました。すごく、今まで以上にきん張したけれ

ど上手に出来ました。合格して6級になれたのでうれしかったです。

木村太郎／7級

ぼくは、今年試験を受けました。試験を受けたのがこれで3回目です。今年試験を受けて、今年のしけんと前のしけんでちがうところがわかりました。わさがちがってぼくはちょっといやでした。でもごうかくしたのでよかったです。

一二三麗子／7級

私は子供クラスで最後の試験になって何級になるかドキドキしました。初めに10級になる人が呼ばれて、次に今10級の人が呼ばれて、次に8級の人が呼ばれました。呼ばれた時とてもドキドキしました。そして、いろいろな「わさ」をして、終わったときにもまだドキドキしていました。そして、先生が「来週、発表します」と言って、私と道家さんは帰りました。

そして木曜日、自分の名前の所を見たら7級になっていたの、とてもうれしかったです。大人クラスになっても、がんばりたいです。

高木じゅん平／9級

しけんに合かくできてうれしかったです。10級から9級になりました。しけんのわさの時に天地なげで1回しっぱいしたけど、それいいは全部できました。よくできてよかったです。

青山ゆうき／9級

3月9日(日)は合気道のテストで、はじめは、おとなの人がやっていて、きんちょうしなかったのに、じぶんのぼんがくるとききんちょうしたよ。でもとてもおもしろかったよ。

中のたかのり／9級

ぼくは、さいしょ10きゅうで、しけんをうけて9きゅうになりました。これでふだが1こ上がりました。1年に1回しかしけんがないから6年になったら7きゅうになりたいです。大人になったら段になって黒帯になって強くなりたいです。前うけみも後うけみもしっこうもすごくじょうずになりたいです。

うの木よしあき／9級

こないだのしけんでは、ごうかくしないかと思ったけど、ごうかくしててうれしかったです。らい年のしけんもごうかくしたいです。

ますだるい／9級

3月9日のしけんのとき、さいしょドキドキしたよ。ドキドキしてトイレにいきそうだったよ。おかあさんとおとうさんとおとうとおじいちゃんが、まえでしっかりやっているところをみていました。

しけんがおわったもくようび、ふだをみるとうえの9きゅうに、ますだるい、となっていてうかっていました。とてもうれしかったです。こんどのおびはきいろいおびです。きいろいおびをつかってこれからもがんばります。

春名あきむね／9級

この前、しけんがありました。さいしょは、だめだと思いました。でもごうかくしました。けっかはどうかなくと思っていてごうかくと言われました。ふだを見ると9級の所にはってありました。9級になったらわさの名前をおぼえたいです。

北川むねき／10級

3月9日、合気どうのテストを受けました。テストを受けるときはドキドキしました。それでごうかくかどうかまっていた。でもちょっとれんしゅうのときぼくにいやなことを言われたのがいやだったです。でもテストのとき そんなこといわれなかったのがうれしかったです。テストはうまくできたとおもいます。そして10きゅうにごうかくしました。とてもうれしかったです。これからもがんばります。

渡辺育未／10級

わたしは、はじめてあいきどうのしけんを受けました。れんしゅうのとき、右のまえうけみがへただったけど、本ぼんのときはうまくいきました。ドキドキでした。でもちょぴりおもしろかったです。ごうかくしてよかったです。

渡辺安由美／10級

しけんをうけてきんちょうしたけど、とてもたのしかったです。

おおはしえいいちろう／10級

いろんな人がきてすごいわざばかりして、しかもうまかったです。にほんじんじゃない人もきていました。あめりかじんみたいな人もきていました。はじめてのしけん、どうなるかなあとか、どきどきするかなあ、ごうかくするかなあとおもいました。ぼくがいちばんすごいとおもったのは、

くびをもってなげてなげられたひとがうけみをするわざです。にばんめにすごいとおもったのは、しっこうみたいなすわりかたをして、なんかいもうけみをするやつです。みんなすごいなあとおもいます。

太田百合香／10級

自分の番がきたときとってもきんちょうしました。いっぱい人がいてびっくりしました。わざがおわったあと、先生が「うまかったよ」といってくれたのでうれしかったです。10きゅうごうかくできてよかったです。今度のしけんもがんばりたいです。

大橋恵子／10級

わたしは5月から合気道をはじめて、今日がはじめてのしけんでした。なので大人の人がいっぱいいるのでドキドキでした。そして、名前をよばれて「あっどうしよう。わたしの番だ」と、思いました。でもやってみたら、あんまりむずかしくなかったです。

そしてやっと終わって帰ろうと思ったら、先生が「大人の人をわざを見なさい」と言ったので見ました。すごいわざばかりあってすごかったです。「木曜日にしけんの発表がされるんだ。楽しみだなあ」と思いました。それから木曜日になって「大橋恵子さん合かく」と先生が言ってわたしは、「やったあ。はじめてなのに合かくした」と何回も思いました。

河内 元／10級

ぼくは、しけんをうける前は少しきんちょうしたけど、道場に行ったらきんちょうしなくなったよ。大人の方は、すごくうまかったよ。いろいろなわざをしていたけどどれもむずかしそうだったよ。しけんは、思ったより楽しかったよ。また来年もうけたいよ。

池田たかふみ／10級

3月9日に合気道のしけんがありました。さいしょは大人の方のしけんでした。せいざをしているときにひざがいたくなりました。次は、子どものしけんでした。練習の時よりうまできてよかったです。しせいをちゅういされたけどあがれてよかったです。

辻 良太／10級

しけんを受けるのがはじめてで、ドキドキして

いました。しけんをごうかくする自しんがありませんでした。しけんに合かくするじしんがなかったけど、合かくしたのでうれしかったです。

ルナあんじゅ／10級

あいきどうにいくまえちょっとねむたかったけど、しゃわーをあびて目がさめたんだ。いってみたらきんちょうした。だって人がいっぱいいたから、びっくりした。

ひふみたくま／10級

10きゅうとおりました。とおってすごうれしかったです。しけんのときもしけんがおわってからもドキドキしました。

さとうこうすけ／10級

ぼくはしけんのとき、うまができるかなとおもっていました。おわったとき、ぼくはうまできたとおもっていました。ふだのがのっているかなとおもっていました。それでふだのがのってなかったけどはじめるときに何きゅうかゆって、ぼくは10きゅうで、やったとおもいました。

春名ゆり／10級

まえうけみがいたかった。ドキドキした。あつかった。そとに出たらさむかった。家にかえたらあったかかった。うけみがじょうずになりたい。

遠藤文美／10級

私は2001年の秋ぐらいからならいはじめました。そのしんさのときはまだ30日たってなかったなので、しんさをうけることはできませんでした。

それが?! ことしはうけれました。本番のとき、すごくきんちょうしました。「うわー、本番がはじまった。うわーん、うかるかなあ?」とずっと思いながらやっていました。で、そのけっかはうかっていたようです。それを聞いた私はすごうれしかったです。

道家菜美子／10級

私は初めて合気道の試験を受けました。無級だったけど、やっと10級になれると思うとちょっとうれしかったです。相手は1つ年下の女の子でした。試験当日の日は朝から、そのことが頭の中からはなれなくて、ちょっと楽しみでした。1年ぐらいやっているの、うけみとかは、ちょっと慣れてきました。

朝道場に行ってみると、先生がいて、大人の人たちがいっぱいいました。びっくりしました。それからちょっと練習をしていると、人がいっぱいいてうけみがすごくしにくくて、相手の女の子と2人でちょっとくせんしながらも練習をしました。

試験が始まると、大人の人たちや先生が、しずかになっていました。前半の大人クラスの試験のつぎに子どもクラスの試験だったので、そのあいだ、せまい場所でずっとみていました。きんちょうしてつかれるよりも、そっちのほうがつかれました。

前半の大人クラスが終ると子どもクラスの試験で、その前にちょっと運動をしてから、子どもたちが1人ずつ名前を呼ばれました。その時はすごくきんちょうしました。まず、しっこうなどをやって、それからわざをしました。わざをやっている時は、指のさきがちゃんとのびているか、とかをいしきしながらやったので、見ている人たちがよくわかりませんでした。

一みや大さ／10級

10きゅう合かくしてうれしかったです。ありがとうございました。

しけんときは、たくさんの人がいてきんちょうしました。もっとれんしゅうをして、こんどは、9きゅうをとりたいです。

つねみあきひろ／10級

3がつ9か、日よう日。しけんへいったときは、人がいっぱいいてぶつかりそうでした。そして、はじめはドキドキして、しっぱいするとおもっていました。けれど、ごうかくして、うれしかったです。



＝ これまでの行事 ＝

- 12月8日(日): 横田前道場長追悼演武会・総会・忘年会(せいぶ館)
- 12月21日(土)～22日(日): 遠藤先生講習会(せいぶ館、甲南大学)
- 12月29日(日): 稽古納め
- 12月30日(月): 餅つき(灘屋前)
- 1月5日(日): 稽古始め、新年会(せいぶ館)
- 1月20日(月)～2月3日(月): 寒稽古
- 1月30日(木): 県武道館婦人教室初日
- 2月11日(祝): 天下一武道教室(合気道兵庫県連盟結成記念講習会、県立武道館)
道主、入江指導員、佐々木指導員、約700人参加
- 3月3日(土): ブライアン(イギリス)道場へ
- 3月9日(日): 昇級・昇段審査
- 3月22日(土)～23日(日): 遠藤先生講習会(せいぶ館、王子スポーツセンター)

＝ これからの予定 ＝

- 10月4日(土)～5日(日): 合宿(丹波荘)
- 12月20日(土)～21日(日): 遠藤先生講習会
- 12月23日(祝): 兵庫武道祭(県立武道館)

編集後記 支部長のエッセイに尾崎さんが出てきた。初段を取る前後、尾崎さんによくしごかれた。ある時羽交い絞めの体勢から腰投げされ、首から落ちながら「あー、これはやばい」と思った。けれど大事に至らず、その後もやめないで稽古を続けると今度はよく可愛がってもらった。尾崎さんの秘密の隠れ家や、打越さんを変え車で東京の全日本合気道演武大会に行ったことを思い出す。あの時尾崎さんからいただいた黒帯は今も腰に健在だ。(和田)

杖道部だより

杖道部員より、14年度の驚き！

長谷直美／杖道・初段

この数ヶ月、週1回の杖の稽古さえ思うように行けない中、稽古に行く度に、うれしい驚きがあります。なんと！ 続々と入部者が！ 今年からレディースクラスの前に自由参加の杖の時間（30分）を明子さんが始められました。その影響で興味を持たれた女性陣、また、以前から興味を持っておられた男性陣が相次いで入部。ようこそ、杖道部へ。恐るべき楽しみが待ち受けていますよ！

実は私、杖と縁があってよかったと思う機会に何度も遭遇しています。足をすくわれて後頭部を打ったり、水月を突かれて毒ガスが出たり、お祝いと称してヘロヘロになるまで打ち込みをさせて頂いたり……。このような、一見痛そうでひどいとも思える遠まわしなしあわせと、「えーっ！」とわが目を疑うような驚きとともに味わうしあわせがあります。

14年度の活動として、夏の杖道発祥の地、福岡への旅の模様を驚きを中心にをご紹介します。松村館長をはじめ、春に京都でお会いした門人の方々と再会できることがまず楽しみでした。それだけでもわくわくなんです（ここだけの話、平成の世の人ではないみたいによいんです）。ですが、絃武館*の方々に稽古をつけて頂けることはもちろんのこと、それに付随する想像をはるかに超える驚きが待っていました。（*東京の絃武館の松村館長と小畑さんは直接の師弟関係を結んでおられます。せいぶ館杖道部は小畑さんを師とし、松村館長からすると、言うなれば孫弟子にあたります）

最初の驚きは、アメリカ領事館職員の方のお宅でのお食事。門人の方にアメリカ人の副領事の方がいらして、大変よくして頂きました。家族の方の手料理と心遣いに、何よりもぜいたくなひとときを過ごしました。女性陣は宿泊までさせて頂きました。とても広くて驚きました。女性陣（越子さん、越本さん、私）は女子高生のように目を輝かせながら、「杖をやってよかったですうー」と小畑さんに感動を伝えました。が、「松村館長と一緒に旅行をすると、こんなことはよくある

よ」、とさりり。翌日、尚武館という気合の渦巻く道場でお世話になり、稽古をつけて頂き、その午後、神道夢想流開祖夢想権之助神社奉納演武を見に流祖祭へ……。の予定だったのですが、どうやら全員裸足になり、神社の境内で演武するらしい……。

蚊を寄せ付けないように気迫を出し、小石のないところがいいなと足をまさぐり、演武をしました。この流祖祭、実は台風の中、決行されました。と言ってもその一時だけ雨風がやんだのです。そして、流祖祭が終わる頃、再び雨風が……。うーん、驚きです。

翌日は杖の演武試合の大会でした。連日夜更かしして、お酒を飲んで、全くコンディションなど気にもしない大会があるなんて驚きでした。幸い、せいぶ館で免疫ができていましたので、武道とはこういうものね、と簡単に納得しました。

演武試合は勝敗に対する余計な思いがなく、自分と向き合えます。そして、自分を受けとめ、映してくれる相方の太刀が大きな存在です。太刀を下さった越子さん、ありがとうございました。あの日の試合はものすごい稽古になりました。越子さんの炎が私のともし火となることに、驚きました。無級から七段までの演武試合を見ながら、ずっと続けていけばこんなに美しいものになるのかもしれないと夢が膨らむ思いでした。心体表現の美しさに驚きました。

初日から驚きの連続でしたが、それは毎日続きました。杖でつながる世界の広さや奥深さを目の当たりにし、感動の連続でした。そして、この旅の、驚きの仕掛け人でもある小畑さんに、いい稽古をつけて頂いていたんだと改めて感謝しました。

いい稽古仲間に恵まれているのに、稽古に行けなかったこの数ヶ月。私もこれを提出する頃には、稽古に行けるしあわせをかみしめる日々をきつと取り戻しているはずです。せいぶ館のみなさん、これからもよろしくお願い致します。

平成14年度杖道部審査結果

審査日：平成14年11月17日（日）

会場：王子スポーツセンター剣道場

合格者：初段 長谷川秋子

1級 越本美代子、高木敏一

【せいはく館道場 入会案内】

■会費 (なるべく3カ月分以上を前納してください)

・入会金 5000 円

会費：一般	5000 円/月 (一括払いの場合：28000 円/半年、50000 円/年)
会費：小～大学 (24 歳以下) & 65 歳以上	3000 円/月
ビジター料金 <1 週間有効>	1500 円/一般、1000 円/小～大学生 (24 歳以下) & 65 歳以上

- ・休会時は事前に届を出すと、500 円/月になります 会費の滞納が6ヵ月以上続いた場合は退会とみなします
- ・会費を銀行振込する場合 日新信用金庫・宇治川支店 (普通) 口座 NO. 340076 せいはく館佐治孝雄 (せいはく かん ざい かつお)
- ・会費を郵便振替する場合 口座番号：14340-56119711 加入者名：せいはく館佐治孝雄

■稽古中のケガ、その他事故については会員個人の責任とします

- 紛争は当事者同士で解決してください
- スポーツ安全保険に加入してください (団体保険は毎年3月末切換えです その後は各自加入してください)

(財) スポーツ安全協会 〒650-0011 神戸市中央区下山手通 4-18-2 兵庫県健康公社内 ☎ (078) 232-9651

■気持ちよく稽古ができるように心がけましょう

- 道場内外は来た時よりも美しくしましょう ○道場内は原則として禁煙・禁酒・禁飲食です
- 道場内には私物を置かないでください 私物を1週間以上放置している場合は道場で処分します

■稽古時間 <2003 年 4 月現在/祝祭日・年末年始等は掲示に注意/※：一般も参加可能、但しクラス責任者の指示に従うこと>

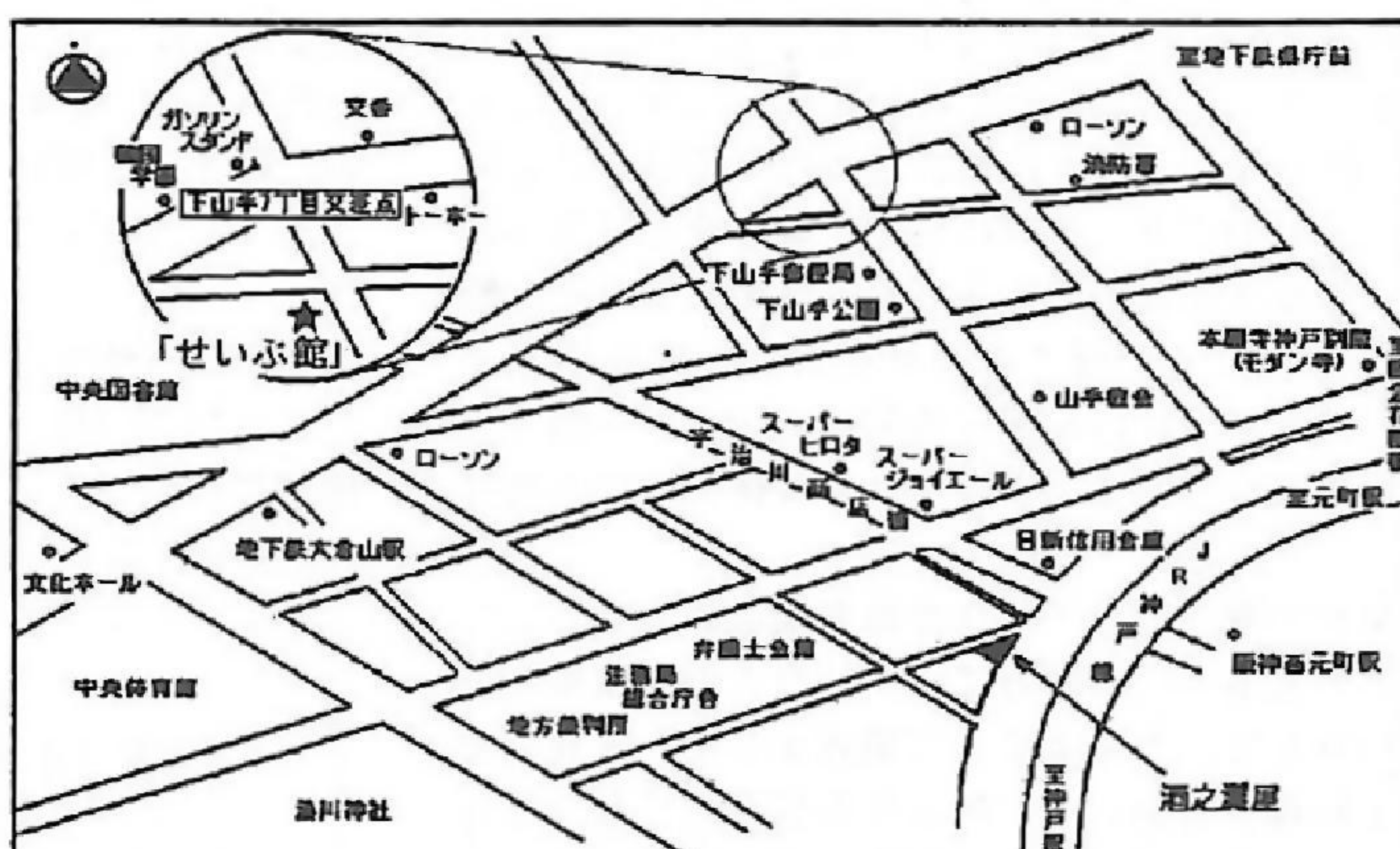
	朝のクラス	昼のクラス	夜のクラス
月	7:00～8:00 中尾		18:30～20:00 澤辺
火			18:00～19:00 (初心者クラス) ※ 和田 19:00～20:00 (一般クラス) 和田
水	7:00～8:00 中尾	14:00～15:30 (レディース) ※ 明子	18:15～19:45 打越
木		16:45～18:00 (子供クラス) ※ 有本	18:30～20:00 (初心者クラス) ※ 越子
金	7:00～8:00 中尾		18:30～20:00 佐治
土	9:30～11:00 中尾	14:00～15:30 (子供クラス) ※ 古殿	18:30～20:00 松平
日	9:30～10:55 中尾 11:00～12:00 濱崎	←[毎月第2日曜：藤井]	

杖道部 <神道夢想流> 会費：1000 円/月

土：11:30～13:30 (小畑) 水：13:00～13:50 (明子) 毎月第1日曜 (古流&自主稽古、小畑)：13:00～15:00

■道場への最寄り駅 (徒歩時間)

- 地下鉄 大倉山駅から3分
- 地下鉄 県庁前駅から5分
- 阪急 花隈駅から5分
- 阪神 西元町駅から7分
- JR 神戸駅から12分
- 高速 神戸駅から12分



(財) 合気会神戸支部 せいはく館 支部長：中尾真吾 / 道場長：濱崎正司 / 副道場長：打越明夫

〒650-0011 神戸市中央区下山手通 8 丁目 20-17 えぬビル 3 階 白蘆林内 ☎ (078) 382-1659 / FAX (078) 341-3980

— 白蘆林 (はくろりん) のこと —

少年や若者が合気道を通じて強く逞しく、優しい思いやりのある人間になれるように。また、大人もそうあり続けられる、そんな青少年健全育成の場でありたい。そういう思いから、下村湖人の「次郎物語」を基に「白蘆林」と名付けました。